

## 会費値下げで会員は増えるか！ 埼玉県合唱連盟令和5年度総会開催

『おんがく広場』 加藤良一

ポストコロナ  
を見据えて

4月30日、埼玉県合唱連盟総会が昨年4月新設されたレイボックホール小ホール(大宮)で行われました。令和4年度事業報告、決算報告、監査報告及び5年度事業計画、予算案について審議され承認されました。役員改選では、**小野瀬照夫**理事長の再任、**本田尚子・國弘雅也**副理事長の再任及び**三沢豊新**副理事長の就任が決まりました。事務局は**南めぐみ**局長、**須田信男**局次長の新体制となりました。コロナ禍で減らしてきた理事の数を元に戻し、健全な活動を取り戻したいのですが、入れ替わりはあったものの、増減ゼロで現状維持にとどまりました。



### 厳しさ続く台所事情！

以前から問題となっていた加盟団体の減少がこのコロナ禍で更に加速し、赤字が続いています。これは全国的な問題だと思います。行事を減らせば経費も人員も少なくて済みますが、それでは将来につながりません。

令和4年度の歳入額は1,388万円、このうち会費収入は34%に当たる478万円です。10年ほど前の会費収入は826万円でしたが、その後会費を値下げしましたのでその影響もあるかと思います。

現在の会費は、少年少女・中学1万4千円(平成25年度は1万8千円でした)、高校1万8千円(同2万円)、大学・職場・一般2万3千円(同2万5千円)で、これは団体の規模に関係なく一律です。これを高いと見るかどうかはまさにその団体の事情によります。規模が大きければ負担は少なくて済みますが、小規模な団にとっては厳しいと訴える声が絶えません。

埼玉に限らず都道府県連に加盟せず、それぞれの地域の合

唱連盟でのみ活動している団体もたくさんあります。また、そのような組織に加わらない団体もあります。特別な場合を除けば、加盟しない理由のひとつには、一般の団体を例に上げれば、県の事業の中では合唱祭くらいしか参加できないところにとって、2万3千円は高すぎると感じてしまうことが上げられます。

埼玉県某市合唱連盟では、年会費1万円+(人数×500円)とし、合唱祭を1回だけ開催しています。従って14人の団であれば1万7千円でステージに立てることになります。もちろん加盟団体が少ないので、規模の小さな合唱祭ではありますがその点が気にならないなら、楽しく歌うことはできるでしょう。

### 会費を安くする手段はあるか？

コロナ禍でダメージを受けた合唱連盟にとって、当面は会費の値下げは考えられません。しかし、会員を増やすにはまず障害となっている「合唱祭しか出られない団体」の会費を解決する必要があります。それには、いろいろなファクターを盛り込んだシミュレーションが必須です。

例えば、年会費を半額にした「準会員」を新設し、合唱祭参加費は正会員より高くするなど、全体の収入が大きく変わらない金額設定を模索してはどうでしょうか。当然半額だけでなく、段階的に減額率を設定し、それで見込める会員数の増加との見合いで最適な値下げ案が絞りだせないものでしょうか。シミュレーションしてみることは決して無駄ではないと思います。

### 総会の簡略化はどこまでできるか？

今年の総会は、会議冒頭に時間短縮を標榜して始まりました。しかし、議事進行は一定の型通りにやらねばならないことはあるにしても、まだ改善の余地があると感じました。

その昔は、事務局長が全体の「事業報告」を述べたあと、各事業(埼玉は6事業あります)担当の常務理事がそれぞれ詳細を述べるという流れでしたが、現在は事務局長がある程度まとめて説明する形になり時間が短縮されています。

しかし、「資料」に記載されている内容をなぞるようなことは不要ですし、「役員改選」事案も事前に調整が付いているはずなので、わざわざ10分も休憩時間をとって「審議」するというのは感心しません。理事会では事前にしっかり検討された「改選案」を予め用意していることは参加者全員が先刻承知ですから、議長一任でも

取り付けすぐに発表すれば済むはずで

